

議会だより



市議会議員の顔ぶれ(13人)

議会構成	2
第2回定例会の概要	3～9
一般質問(10人)	10～14
令和6年活動報告	15
お知らせ・編集後記	16



● 議 会 構 成 ●

令和7年第2回定例会初日(2月25日)に、正副議長の選出、各常任委員会などを指名し正副委員長等を選出しました。

議 長 澤 史 朗



副 議 長 上ヶ吹 豊 孝



総務常任委員会(7人)

委 員 長	森	要
副 委 員 長	中 田 利 昭	
	高 原 邦 子	
	前 川 文 博	
	住 田 清 美	
	澤 水 史 朗	
	上 雅 廣	



産業常任委員会(6人)

委 員 長	井 端 浩 二
副 委 員 長	小笠原 美保子
	籠 山 恵美子
	野 村 勝 憲
	上ヶ吹 豊 孝
	佐 藤 克 成



議会運営委員会(6人)

委 員 長	住 田 清 美
副 委 員 長	前 川 文 博
	井 端 浩 二
	森 上 雅 廣
	水 上 雅 廣
	小笠原 美保子

政治倫理審査会(8人) 任期：4年

委 員 長	籠 山 恵美子
職務代理者	高 原 邦 子
	前 川 文 博
	澤 史 朗
	森 上 雅 廣
	上ヶ吹 豊 孝
	小笠原 美保子
	中 田 利 昭

広報広聴特別委員会(7人)

委 員 長	上ヶ吹 豊 孝
副 委 員 長	佐 藤 克 成
	井 端 浩 二
	森 上 雅 廣
	水 上 雅 廣
	小笠原 美保子
	中 田 利 昭

議会選出監査委員

水 上 雅 廣

予算特別委員会(13人)

委 員 長	高 原 邦 子
副 委 員 長	籠 山 恵美子

古川国府給食センター利用組合議会議員(4人)

籠 山 恵美子	住 田 清 美
森 上 雅 廣	佐 藤 克 成

定例会情報

令和7年 第2回定例会（2月25日～3月18日）

本定例会は、令和7年度当初予算のほか、飛騨市固定資産評価審査委員会委員などの選任などを審査するため2月25日から3月18日までの22日間の会期で開催しました。なお、上程された、条例改正や当初予算などの承認2件、議案54件、発議1件については、すべて原案のとおり承認、可決としました。

本会議、委員会審査での質疑応答の主なものは次のとおりです。

● 医療・福祉・介護に関すること

- 議案第16号 飛騨市保育所条例の一部を改正する条例について

宮川保育園を宮川小学校校舎内に移転することに伴う改正

- Q 新年度の入園者数及び今後の見通しは

A 5名が入園予定であり、令和10年度くらいまでは園児がいることを見込んでいる

- 議案第17号 財産の無償貸付について（飛騨市古川町下気多地内福祉施設整備先行取得地障がい者就労支援施設整備活用事業）

古川町下気多地内の福祉施設整備先行取得地を活用するため、民間投資による障がい者就労支援施設整備を行い、障がい者の就労支援の充実と活性化を図ることを目的に、古川町のサン・ドリーム株式会社へ一年間、当該用地を無償貸し付けするもの

- Q 当該用地は整地したうえで借り受けるのか、また、有償である場合の金額は

A 平成17年に工事は終了している、金額は年間で約47万円となる

- 議案第18号 指定管理者の指定について（飛騨市古川町デイサービスセンター、飛騨市河合町デイサービスセンター、飛騨市宮川町デイサービスセンター、飛騨市河合町保健センター、飛騨市宮川町保健センター）の変更について

- 議案第19号 指定管理者の指定について（飛騨市宮川・河合デイサービスセンター、飛騨市河合町保健センター）

組織の統廃合に伴い、古川町・河合町・宮川町のデイサービスセンター、河合町・宮川町の保健センターの指定管理期間を令和7年3月までの3年間に変更し、新たに宮川・河合デイサービスセンター、河合町保健センターについて、令和7年4月から5年間、社会福祉法人 吉城福祉会を指定管理者として指定するもの

- 議案第20号 飛騨市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険に係る独自事業を、一般会計の財源で実施してきたが、安定した財源の確保による持続可能な事業とするため介護保険特別会計で実施できるよう、所要の改正を行うもの

- 議案第21号 飛騨市看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例について

修学資金の返還に係る要件等を明記するための改正

- 議案第22号 飛騨市医師養成資金貸与条例の一部を改正する条例について

飛騨市看護師等修学資金貸与条例の改正に伴い、養成資金の返還期限の起算日及び方法を明記することで債権管理の適正化を図るとともに、看護師等修学資金貸与条例との整合性を図るための改正

- 議案第23号 飛騨市医療・福祉専門職員就職準備貸付金貸与条例の一部を改正する条例について

飛騨市看護師等修学資金貸与条例の改正に伴い、就職準備貸付金の返還方法を明記することで債権管理の適正化を図るとともに、看護師等修学資金貸与条例等との整合性を図るための改正

- Q 現在借りている方に遡って条文を適用するのか。

A 改正を遡って適用することができないため、事情を説明し貸与した金額を寄附してもらう方向で進める

- 議案第24号 飛騨市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

高校生年代においても、義務教育終了まで「こども」と同じ助成方法である現物給付とするための改正

- Q 周知はどのようにするのか

A 高校生へ受給者証を個別に配付する時にあわせて周知していく

- 議案第26号 飛騨市国民健康保険病院事業及び飛騨市国民健康保険直営診療所の使用料並びに手数料条例の一部を改正する条例について

教育、福祉等患者関係者コンサルテーション料を岐阜県の負担額と同額とするための改正

- Q 特別会計への影響は

A 今年度は1件あたり7,000円で3件分21,000円の運用で、年間6件42,000円から7件49,000円を見込んでいる

● 国民健康保険に関すること

定例会の概要

● 議案第25号 飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

中間所得層の負担への配慮や物価上昇による影響に配慮し、国民健康保険税において所要の改正が行われることから、国民健康保険料についても同様の措置を講ずるため、国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴う改正

Q 直近の国民健康保険加入者数はいかがか

A 今年度本算定の数値で2,897世帯、4,188名である

● 債権に関すること

● 議案第14号 飛騨市私債権管理条例について

私債権の管理について、一層の適正化を図り、円滑な行財政運営を目的とするため条例の制定を行うもの

Q 条例制定によりどのように変わるのか

A 不納欠損金を計上するまでのプロセスを条例化し、議会の議決を得なくても処理できることを明確にした

● 議案第34号 飛騨市林業・木工技術者等修学資金貸与条例の一部を改正する条例について

飛騨市私債権管理条例の制定に合わせ、延滞金に係る規定を削除するもの

Q 延滞金の文言が削除されるが今後はどのようなになるのか

A 遅延損害金の名目で徴収することになる

● 駐車場整備に関すること

● 議案第35号 飛騨市駐車場条例の一部を改正する条例について

飛騨市若宮駐車場と民間により整備された駐車場を交換するため、飛騨市若宮駐車場を廃止し普通財産にするための改正

● 議案第36号 財産の交換について

飛騨市若宮駐車場の土地と建物を民間により整備された駐車場の土地と建物の交換を行うもの

Q 開発計画の地元住民への説明はいつされたのか

A 開発者側より令和3年12月23日に古川町第17区、第19区、第21区～第24区の地元区長に対し説明が行われた

● 地籍調査に関すること

● 議案第32号 字区域の変更について(古川町谷Ⅰ地区)

● 議案第33号 字区域の変更について(宮川町三川原Ⅰ地区)

地籍調査の結果、字の区域を変更するもの

● 市営住宅に関すること

● 議案第39号 飛騨市市営住宅条例等の一部を改正する条例について

市営住宅への入居の際に必要としていた連帯保証人の見直し及び住宅使用料の性質を公債権から私債権に改めることに伴う改正

Q 債権回収が困難な場合に保証法人を利用する検討をされたのか

A 検討は行ったが入居者負担が増えること、また、県内を調査した結果、利用している自治体が多かったことから、保証法人は利用しない判断とした

● コミュニティ施設・スポーツ施設等に関すること

● 議案第27号 飛騨市保健センター条例及び飛騨市コミュニティ施設条例の一部を改正する等の条例について

公民館施設及び古川町保健センター分館の設置目的をコミュニティ施設への変更等に伴う改正

Q 施行日が令和7年7月1日となっているが、4月から6月にかけて周知するのか

A その期間にコミュニティ施設への変更を周知していく

● 議案第28号 飛騨市スポーツ施設条例の一部を改正する条例について

飛騨市スポーツ施設の廃止や利用時間等の変更に伴う改正

Q 廃止後の跡地管理はどうするのか

A 普通財産とし売却についても引き続き検討していく

● 議案第29号 飛騨市学校運動場夜間照明施設条例の一部を改正する条例について

飛騨市学校運動場夜間照明施設における県立学校体育施設の開放及び管理に係る手続きが岐阜県教育委員会へ集約されたこと等に伴う改正

Q 河合小学校・宮川小学校運動場の夜間照明について、避難所であることも踏まえて設置を継続する考え方はないのか

- A 維持費用が高額であるため、消防団等で運動場を利用する場合は投光器での代用をお願いしたい
- 議案第30号 飛騨市使用料徴収条例の一部を改正する条例について
公民館施設及び保健センター分館のコミュニティー施設化、スポーツ施設、コミュニティー施設及び夜間照明施設の廃止等に伴う改正

● 地域産業振興施設、観光施設に関すること

- 議案第15号 飛騨市地域産業振興施設条例の一部を改正する条例について
飛騨市かわい歴史の里いなか工芸館の紙漉き体験料金及び年末休館日の見直しを行うもの
- Q 直営になるが管理や紙漉き体験の受付は河合振興事務所なのか
- A これまでどおり河合振興事務所で行い、紙漉き体験の受付窓口も河合振興事務所である
- 議案第38号 飛騨市観光施設条例の一部を改正する条例について
観光施設の追加及び使用料の見直し等に伴う改正
- Q 昨年度と比較し、どのくらいの使用料の増額となるのか
- A 指定管理者の判断によるが1割から2割の使用料の増額と見込んでいる

● 下水道事業に関すること

- 議案第31号 飛騨市下水道条例の一部を改正する条例について
下水の水質の検定方法等に関する省令及び下水の処理開始の公示事項等に関する省令の一部を改正する省令が公布されたことに伴う改正
- Q 市の独自の改正は、「指定工事店の指定を受けたものの有効期間が5年であることから、合わせて申請を行う責任技術者の登録の有効期間を5年で統一する。」の部分なのか
- A その部分を市独自で改正することになる

● 人事案件に関すること

- 議案第3～5号 飛騨市固定資産評価審査委員会委員の選任同意
嶋田 浩樹(古川町) 徳永 有香(神岡町) 柏木 雅行(河合町)
【選任期間】令和7年3月29日から令和10年3月28日までの3年間【同意】
- 議案第6号 飛騨市教育委員会委員の選任同意
向川原 眞郷(古川町)
【選任期間】令和7年4月1日から令和11年3月31日までの4年間【同意】

● 職員の給与等に関すること

- 議案第9号 飛騨市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告に基づく給料の最低水準の引き上げ、扶養手当の見直し、管理職員特別勤務手当の支給範囲の拡大、通勤手当の引き上げ及び再任用職員への手当支給の拡大に伴う改正
- 議案第10号 飛騨市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告に基づく特定任期付職員への勤勉手当の支給開始に伴い、特定任期付職員業績手当を廃止し、期末手当の支給月数を調整するもの
- Q 扶養手当の見直しで配偶者扶養手当が令和8年度にはなくなるが、介護などで働けない事情もあることから、市独自の考え方はあるのか
- A 人手不足であり103万円の壁もあって働く人を増やしたいことが目的であり、市独自の扶養手当の見直しは考えていない
- 議案第11号 飛騨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴い、時間外勤務の免除となる子の範囲の拡大及び仕事と介護の両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備を行うための改正
- Q 時間外勤務の免除の実態はあるのか、また、申請は毎回か、あるいは年度なのか
- A 実際に申請している職員がおり、最初の申請で勤務日数を区切って申請している
- 議案第12号 飛騨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴い、条項ずれが生じたための改正
- 議案第13号 飛騨市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について
国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、宿泊料を定額から上限を設けた実費支給とする方法に改め、支給上限は国の規定を準用するもの
- Q 岐阜県の宿泊料が愛知県の宿泊料よりも高い理由は
- A 高山市や下呂市などの観光地のインバウンド需要が影響している

定例会の概要

● 議決が必要な財産の取得に関すること

予定価格2,000万円以上の財産の買い入れについて審議

- 議案第7号 財産の取得について(小中学校児童生徒用タブレット端末)

Q 契約の詳細を説明してほしい

A 落札者は2社で構成された共同企業体で落札し、予定価格よりも低い価格で落札した

● 議決が必要な負担付き寄附の受納に関すること

- 議案第37号 負担付き寄附の受納について

公益財団法人日本ナショナルトラストが所有してきた飛騨の匠文化館を、市に無償で譲渡するにあたり、①目的に沿って施設を活用すること、②このことを市が履行しない場合は、この契約を解除する。という負担付きの寄附の受納

Q 受納後の構想はあるのか

A 今年度でリニューアルの基本設計がまとまるため、次は、古川の街並みが守られてきた意識を学んでいただき、街歩きにつなげていきたい

● 法律の改正に伴う関係条例の整備に関すること

- 議案第8号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について

刑法等の一部を改正する法律により、「懲役」及び「禁錮」が廃止され、「拘禁刑」が創設されることに伴う改正

● 予算に関すること

令和6年度 補正予算

- 議案第40号 令和6年度飛騨市一般会計補正予算(補正第6号)
4億2,980万5千円を増額、補正後の予算額は、237億7,374万2千円
- 議案第41号 令和6年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算(補正第4号)
事業勘定の2,776万9千円を減額、補正後の予算額は、25億9,783万8千円、直営診療施設勘定の616万6千円を減額、補正後の予算額は、1億9,506万3千円
- 議案第42号 令和6年度飛騨市後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第2号)
54万4千円を減額、補正後の予算額は、5億500万7千円
- 議案第43号 令和6年度飛騨市介護保険特別会計補正予算(補正第4号)
保険勘定の5,389万5千円を減額、補正後の予算額は、34億8,672万7千円、事業勘定の12万3千円を増額、補正後の予算額は、1,904万8千円
- 議案第44号 令和6年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計補正予算(補正第1号)
400万円を減額、補正後の予算額は、1億8,300万円
- 議案第45号 令和6年度飛騨市下水道事業特別会計補正予算(補正第2号)
収益的収入の1,000万円を減額、補正後の予算額は、14億2,708万円、収益的支出の1,000万円を減、補正後の予算額は14億2,503万5千円、資本的収入の1,503万9千円を減額、補正後の予算額は、3億3,764万8千円、資本的支出の当初予算額は、1,503万9千円を減額、補正後の予算額は、7億3,470万2千円

総務部

Q 民間バス路線のバスの利用率は

A 神岡～猪谷間で1便あたり平均1.0人である

企画部

Q 来年度プロスポーツ親子観戦ツアー実施の計画はあるのか

A ふるさと納税利用で実施計画している

市民福祉部

Q 車両購入は国や県の補助ではないのか

A 送迎者の支援はないため、市で支援補助している

環境水道部

Q じん介収集委託料の減額の理由は

A 清算時期が3月になったため減額した

農 林 部

Q 生活環境保全林整備事業交付金の減少幅が大きい要因は

A 当初 8 集落の予定が 4 集落の申請だったため減額した

商工観光部

Q クラフトバレー海外研修補助金の減額の理由は

A アメリカでの社員人材育成研修事業の計画だが市内事業参加者がいないため、国内へ変更し南砺市で行った

基盤整備部

Q ホテル季古里の備品は市で購入し貸し出すのか

A 今まではリースだったため、一旦リースを終わらせ市が購入して新事業者へ貸し出す

教育委員会事務局

Q 旧中村邸はふるさと納税をいくら活用したのか

A 令和 6 年度までに 2,496 万円を活用した

令和 7 年度 当初予算

● 議案第 46 号 令和 7 年度飛騨市一般会計予算

当初予算額は、197 億 9,000 万円、前年度比較、5 億 4,000 万円の増額

● 議案第 47 号 令和 7 年度飛騨市国民健康保険特別会計予算

事業勘定の当初予算額は、25 億 2,280 万円、前年度比較、2,680 万円の減額、直営診療施設勘定の当初予算額は、1 億 9,500 万円、前年度比較、40 万円の減額

● 議案第 48 号 令和 7 年度飛騨市後期高齢者医療特別会計予算

当初予算額は、5 億 1,250 万円、前年度比較、1,610 万円の増額

● 議案第 49 号 令和 7 年度飛騨市介護保険特別会計予算

保険勘定の当初予算額は、32 億 5,710 万円、前年度比較、5,760 万円の減額、事業勘定の当初予算額は、1,200 万円、前年度比較、1,000 万円の増額

● 議案第 50 号 令和 7 年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計予算

当初予算額は、1 億 9,600 万円、前年度比較、900 万円の増額

● 議案第 51 号 令和 7 年度飛騨市駐車場事業特別会計予算

当初予算額は、300 万円、前年度比較、70 万円の減額

● 議案第 52 号 令和 7 年度飛騨市給食費特別会計予算

当初予算額は、4,160 万円、前年度比較、460 万円の増額

● 議案第 53 号 令和 7 年度飛騨市水道事業会計予算

収益的収入の当初予算額は、5 億 6,025 万 9 千円、収益的支出の当初予算額は、5 億 4,334 万 1 千円、資本的収入の当初予算額は、2 億 2,806 万 7 千円、資本的支出の当初予算額は、3 億 430 万 3 千円

● 議案第 54 号 令和 7 年度飛騨市下水道事業会計予算

収益的収入及び支出の当初予算額は、13 億 2,386 万 4 千円、資本的収入の当初予算額は、4 億 708 万 1 千円、資本的支出の当初予算額は、7 億 6,153 万 3 千円

● 議案第 55 号 令和 7 年度飛騨市国民健康保険病院事業会計予算

収益的収入の当初予算額は、15 億 9,524 万 5 千円、収益的支出の当初予算額は、18 億 9,638 万 7 千円、資本的収入の当初予算額は、4,391 万 6 千円、資本的支出の当初予算額は、1 億 1,125 万 6 千円

総 務 部

Q 仮設住宅の設置場所の検討はされているか

A ハザードマップで安全なところを確認し設置する。香愛ローズガーデンや流葉、黒内などを想定している

企 画 部

Q 地域おこし協力隊員を何名か募集するが応募者の目途はあるのか

A 目途が立っているものといないものがある

河合振興事務所

Q 飛騨河合音楽の郷の推進で、演奏会場は古川と神岡であるがこの状態でいいのか

A 名前については今までの活動に敬意を払い、そのまま残したいが今後検討する

定例会の概要

宮川振興事務所

- Q まんが王国の活性化で、まんが・イラスト教室の開催とあるが募集や指導者は
A 市民カレッジで紹介している。指導者は専門の方に依頼する

神岡振興事務所

- Q 旧深山邸の新たな利用は
A 旧深山邸市民ミュージアム(仮称)として、市民ギャラリーや企画展の開催や、市民団体や各種機関による活動の場として提供したい

市民福祉部

- Q 飛騨市作業療法まちづくり研究所とは何か
A 学校作業療法の人材育成・確保モデルの確立に向けた研究を行うプロジェクトの呼称であり、地域おこし協力隊制度を活用し、作業療法士資格を持った隊員を募集し現場で育てる作業療法士を確保し、育成モデルの確立をめざす

環境水道部

- Q 電気自動車の購入支援で過去の購入台数は
A 令和5年度は8件、令和6年度は3件申請があった

農 林 部

- Q 脱プラスチック肥料の米づくりの実証実験とはどういうものか
A 懸念があることは承知の上で、まずは収量がどれくらいあるのか試す

商工観光部

- Q 町並み夜間景観の整備はどのようなイメージなのか
A プロの目線で面的に瀬戸川の行燈のように飛騨古川にふさわしい夜間照明をめざす

基盤整備部

- Q 2、3年前に購入した自走式草刈り機は農林部との併用のままなのか
A 農林部との併用であり、需要が高まるようであれば増設を検討する

教育委員会事務局

- Q 文化交流センター広場でのスケートボードの実証実験で一般市民への周知方法は
A ホームページ、地元区、自治会へ事前に周知したい

消 防 本 部

- Q 4地区の中で特に消防団員の足りないところは
A 4地区とも課題があり人口が少ない地域は団員の確保が困難である

病院事務局

- Q 連帯保証人代行はこれまでもあったのか
A 令和7年度から初めて行う

● 専決処分の承認に関すること

- 承認第1号 令和6年度飛騨市一般会計補正予算(専決第4号)
【専決第1号】道路除雪費用の増額に伴う補正
- 承認第2号 令和6年度飛騨市一般会計補正予算(専決第5号)
【専決第2号】道路除雪費用の増額に伴う補正
- Q 除雪費用の増額による特別交付税の見込みは
A 過去の実績を鑑みて算定されるものと見込んでいる

● 発議に関すること

- 発議第2号 飛騨市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について
情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正

◆ 採 決 ◆

議案第35号 飛騨市駐車場条例の一部を改正する条例について（賛成者多数で可決されました）

議案第36号 財産の交換について（賛成者多数で可決されました）

◆ 討 論 ◆

議案第20号 飛騨市介護保険条例の一部を改正する条例について（賛成者多数で可決されました）

反対討論 籠山恵美子 議員

この条例改正は、これまで一般会計で実施してきた家族介護応援手当、移動販売事業者の運営費補助、特養施設夜勤者の処遇改善、ケアマネージャー報奨品の財源を、介護保険特別会計に求めようとする改悪案である。

介護保険は特別会計なので、介護サービスを増やせばその分被保険者の保険料に跳ね返ってくる建てつけになっている。それは当然、市民には負担の痛みにしかならない。こういう「建てつけ」には反対である。

賛成討論 前川 文博 議員

飛騨市独自の一部改正で、市が独自に条例に定めることにより市独自の事業が実施できるようになるもの。介護保険では介護の予防事業も対象となる。主な点は、買い物支援事業の助成となる。助成金の支出は一般会計から介護保険特別会計に変更となるが、介護保険料が上昇するようなことになれば一般会計に戻すことが、今議会中に発言があり、しっかりと会議記録に残っている。介護予防の点からこの条例改正については賛成する。

議案第46号 令和7年度飛騨市一般会計予算（賛成者多数で可決されました）

反対討論 籠山恵美子 議員

まず問題は、本予算で継続させるべき事業に、ふるさと納税という寄付金が多用されている点だ。寄付金という「施し」で済まらず、本予算に位置付けるべきものが多数見られた。教育費は日常の教育環境整備にもっと予算を。今年も酷暑が予想される。ぜひ学校体育館へのエアコン設置にスピードを上げていただきたい。いつも提起する生活支援の対象基準の引き上げは、子育て世代への見直しだけでなく全世代に拡充すべき。経済的にはみんなが苦しい時代である。市には「予算単年度主義」を徹底し貯めこみ主義に陥らず、市民生活を守る予算執行を求める。

賛成討論 小笠原美保子 議員

令和7年度予算は、賃金や物価の高騰により、様々な経費が増えることに加えて人材の確保が困難となる中、こうした課題の解決に向けて智慧と工夫を凝らし「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市」を実現するため、これまでの政策を深化させ「持続可能」に「変革」の要素を加えたテーマで予算編成されている。

その内容は、人口減少や少子化による担い手不足、物価高騰や人件費高騰が常態化し、あらゆるコストが上昇している中、真に必要な部分を残し、事業の本質的な目的に立ち返り、中身を見直し、事業費縮減や職員の負担軽減等による事業のスリム化がなされていることから賛成する。

議案第49号 令和7年度飛騨市介護保険特別会計予算（賛成者多数で可決されました）

反対討論 籠山恵美子 議員

反対の大きな要因は、この特別会計の中に新たに組み込んだ「保健福祉事業」の内容で、令和7年度は38,386千円が介護財政から支出されようとしている。

この特別会計の令和4年度決算では、33億円余の予算から不用額（使わず残した金額）を2億7,200万円も出し、介護給付費準備基金も2億4,000万円積み上がっている。

このダブついた財源の有効活用なら、それこそ人材確保のための介護職員の処遇改善と、市民の介護保険料の引き下げに回すべきである。

賛成討論 住田 清美 議員

介護保険制度は、介護保険法に基づく制度で、自立した日常生活を営むことができるよう必要な対応を国民共同連帯の理念で行うため創設されている。同法第4条では、健康でいるための国民の努力義務が、第5条では行政の責務が明記されている。今回、市が提案している保健福祉事業における在宅介護者支援、介護予防に資する事業、保険給付サービスの提供体制を安定させる事業などの各事業は、これら制度の理念に沿っており賛成する。

議 案	佐藤	中田	小笠原	水上	上ヶ吹	森	井端	澤（議長）	住田	前川	野村	籠山	高原
第35号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○
第36号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○
第20号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
第46号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○
第49号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○

賛成：○ 反対：×



野村 勝憲 議員

「地域創生2.0」の取り組み

2月「地方創生」「防災」をテーマに石破総理、橘官房副長官、衆参3議員の国会事務所と内閣官房、経産省、東濃5市等訪問。得た知見を参考に①飛騨市版地方創生2.0②産官学の地方移転と創生③新年度の地方創生交付金と官民での推進プロジェクトを問う。

答 弁 ①第2期飛騨市総合政策指針と符号②市の重点施策は移住・定住促進③交付金は積極的に活用し、4地域共官民連携実現しつつある。

持続可能な「観光地域づくり」について

市長は「観光を1丁目1番地に人と金を取り込む」と公約し祭会館やご当地映画等に大金投入。その成果は出ず閉店が続き、観光客は年間100万人前後。同じ飛騨なのにロケツーリズム等出費

0円の白川村200万人高山市400万人超えの賑わいで稼ぐ観光地となり対照的①新たな攻めの観光戦略が必要②3年後観光客150万人宿泊客15万人を目標に③白川郷と飛越の交流促進。

答 弁 ①令和3年「飛騨市観光基本戦略」を策定。新観光戦略は不要。②目標値は掲げるべきでない。③各々と広域連携は実施している。

大学基金と若宮駐車場の土地交換について

数河産廃阻止の質問より多い過去最多の傍聴者を背に①ふるさと納税2.5億円宮城町が前提で街中キャンパスなら不要。②スーパーは消え、ホテルと大学等三転四転。交換は事業決定後③気多より若宮が坪4万円高いが相場。1.3億円の新トイレと消防器具庫の設計・配置誰が許可。

答 弁 ①宮城町の市道整備に1,370万円。残金2.6億円は大学設立基金へ②大きく逸脱しておらず、予定通り進める③市は設計段階から参加。

YouTube ▶



高原 邦子 議員

期日前投票所は移動式も取り入れたらどうか

この一年間で3度の選挙があり、人手も少ない中、管理も苦慮しているのは理解するが、もう少し市民の現状に心を寄せた取り組みはできないものか…①選挙管理への考え方は②移動式期日前投票所についての考えは③市の施策に「変革」を唱えるのなら選挙管理についての変革とは

答 弁 ①過去の日により時間帯別の投票状況等を考慮し、人員確保に苦慮している状況に鑑み、期日前投票は古川町を除いて短縮した。②③弱い立場の方々に配慮し、実施している和光園・吉城特別支援学校・市内の高校への期日前投票所に加え、参議院選にむけて「おでかけ投票所」の取り組みを模索している。

八潮市の陥没事故から老朽化しているインフラ設備の維持管理は重要

日本全国、老朽化したインフラの更新等が言われている。災害時の復旧や大事故につながる前に対処は必要である。①下水道管の点検結果は②水道管の老朽化による水質汚濁は大丈夫か③側溝の漏水は、家屋の傾きや倒壊にもつながることがあるが対策は④大雪だった今冬、人手不足は除雪オペレーター確保にも対策は

答 弁 ①令和6年9月から12月にかけてカメラ調査をし、事故後の緊急点検は目視・道路陥没の変状調査で異常なし②水質汚濁はないが適正な維持管理と計画的な更新を進める。③ひび割れ漏水等の不具合を発見した際は緊急性・安全性に考慮し、優先順位をつけ補修、改良工事を実施している④オペレーターの人材確保のためには国・県・市内全域の事業者・各種団体・企業と協議を進め対応策の検討を進める。

YouTube ▶





中田 利昭 議員

飛騨市D X推進計画の進捗状況と課題について

①D Xとは？②進捗状況は？③A Iの活用は？
④市独自の開発は？

答 弁 ①デジタルトランスフォーメーションの略でデジタル技術を活用し、より効率的で質の高いサービスの実現を目指す。具体的には、行政手続きのオンライン化、業務改革の推進、テレワークの推進、デジタルデバイド対策等である②書かない窓口は既に運用開始しており、行かない市役所においては一部郵便局での交付、デジタル仮想空間を利用した相談業務や手続き案内の実証実験、電子申請フォームを利用した各種手続きの事前予約、アプリを利用した電子通知など実施。情報格差については市民向けスマホ利用講座を実施しており、すでにのべ35名の参加者があった。

③A Iの活用はD Xにおいて重要な要素の一つ会議録システムなど運用開始している④すでに導入しており、100以上のアプリを開発運営している。

消防の救助体制と民間業者の活用について

①救助活動における民間業者の活用について
②民間業者を活用した場合の課題は？

答 弁 ①事案によっては消防の資機材よりスペックもスキルも高いことがある。対応不可能な時は民間業者に要請することも必要になると考える②指揮命令系統、安全確保、責任の所在、費用負担が課題。しかし現場で情報を共有し、協議し決定した活動方針で救助に当たればこれほど心強いことはない。それらを飛騨市、消防本部の責任の下で行えば大きな課題にはならないと考える。

YouTube ▶



森 要 議員

駅東開発に伴う駐車場等の交換について

本定例会に、若宮駐車場と新駐車場の土地・建物交換についての議案が上程されました。現在の若宮駐車場と同等以上の機能を持つ施設との交換が条件でありましたのでお伺いします。①交換に関する機能及び価値の確認の結果は。②隣接する施設との連携は。

答 弁 ①面積・駐車台数とも(株)東洋側が飛騨市側の面積等を上回ります。具体的には飛騨市側面積11,423.31㎡、(株)東洋側面積12,097.65㎡、飛騨市側駐車台数306台(普通・大型)、(株)東洋側346台(普通・大型・身障用)である。

建物についても、面積及び機能は(株)東洋側が上回っているほか、公衆トイレについては男女共にベビーチェアが設置され、女性用トイレには子

供用小便器も設置されている。消防用器具庫においては、土間コンクリート床部分の塗装や防火対策により、建具を襖からブラインドカーテンに変えるなど、新しい設備を設置しており、既存施設以上の機能で有ることを確認した。②隣接する施設及び飛騨市観光協会等継続的な情報交換ができるよう開発者に提案したい。

江崎知事の県政運営について

①江崎県政に期待すること、県と市町村の関わりは、どのようになるのが理想と考えるか。

答 弁 ①今までは、県内各地域、特に市町村の連携が弱いと考えていた。江崎知事には市町村の現場の動き、政策との連携を深めていただくことを期待したい。県におねだりするとかの関係でなく、県と一緒に取り組みたいことをどんどんぶつけて一緒に考えて悩みながら連携して政策を作り上げていくという関係が理想と考えている。

YouTube ▶





小笠原 美保子 議員

吉城コンボの現状と課題について

①製品の品質について。②新年度予算での施策について。③今後の計画について。

答 弁 ①令和5年度からは堆肥製造に詳しい細菌学者の指導を受けながら臭気軽減と更なる高品質化に取り組み、一方で老朽化した攪拌機の更新に向け、臭気軽減が期待でき高品質堆肥の製造につなげられる攪拌機の機種選定を進めている。②令和7年度予算において県補助金も活用しながら攪拌機更新への助成を行い、家畜排せつ物等の管理の適正化と利用の促進を図るためソフト事業を計上している。③施設全体の老朽化が著しく、計画されている攪拌機の更新工事には約1カ月が見込まれており、関係者と協議しながら調整していく。

認知症でも安心なまちづくりのために

①認知症サポーターの活動と今後の計画について。②家族への支えになれるよう介護者へのサポートについて。③課題の多い若年性認知症の支援について。

答 弁 ①サポーターの知識やスキルを役立てたい方へ希望者対象にステップアップ講座があり、神岡町では市で飛騨圏域、第1号となるチームオレンジに認定しました。令和7年度はより多くの方を対象に講座を企画したい。②市内2カ所にある「ものわすれ相談窓口」を行い、介護者対象に介護座談会・研修会でサポートしている。今後さらにケアマネ、キャラバン、サポーター、行政がそれぞれの強みを生かし、連携強化していく。③具体的な取り組みに結びついていないのが現状。若年性認知症の方の自立支援は県が主体なため、近隣自治体と一緒に模索していきたいと考えている。

YouTube ▶



佐藤 克成 議員

ねりんピック岐阜の開催について

①飛騨市の負担金、財源について②大会参加者の宿泊・食事について

答 弁 ①本大会の開催に多額の事業費を要することから、県に対し財政的な、十分な支援を得ることを条件に承諾した。大会開催に係る経費は、飛騨市実行委員会への負担金6,356万円、その内県の補助金は総額4,000万円あまりで、市の真水の支出は2,300万円となる見込み。飛騨市だけの事情を考えれば、本大会の開催は本意ではないが、岐阜県の一員として大会の成功に向けて協力して取り組む。②大会参加者の宿泊食事の手配は県が委託する高山市の事業者により行われる。飛騨市内の宿泊施設だけでは受け入れが困難なことから、参加者の多くは高山市内に泊まることになる。

持続可能な飛騨市づくりについて

①市役所の産前休暇規定の見直しについて②市内事業者の産前休暇取得推進について

答 弁 ①令和7年4月から産前休暇の取得可能期間を出産予定日の8週間とする。②女性が安心して働くことができる職場環境を支援するため、女性社会進出促進補助金を用意しており、周知していく。

ごみの分別・減量化について

①ごみの分別の徹底について②可燃ごみの処理費用の個人負担割合について

答 弁 ①ごみのリサイクルや分別意識の向上のため、ごみ出し支援アプリ「さんあ〜る」など様々な場や情報媒体を活用していく。②ごみ処理手数料について、市民生活、市財政への影響等考慮して慎重に検討する必要がある。

YouTube ▶





水上 雅廣 議員

公共施設の整理統合などについて

風呂施設など20施設の経費削減等に対する考え方は。また、施設全般について広域での集約化や施設用途・管理区分変更の検討は。

答 弁 各地域に存在するすべての施設を支えることができない段階にきていることを、市民に理解いただきたい。民間譲渡を主に検討するが、廃止については急な対応とならないよう十分な配慮要すると考えている。施設の広域化については検討していない。また、これまで検討していなかった施設の連携によって、新たな付加価値を発見することも可能と考え、用途変更等について柔軟に検討する。

地域振興を考える上での組織支援について

条件不利地域の集落や地域に必要なのは、話し合い～計画の策定への取り組みに対する組織支援。そのことに専従で取り組める人材(外部人材)の確保と振興事務所への配置を検討されたい。

答 弁 新たな制度の活用も視野に地域課題の解決に市とともに取り組んでもらえる専門人材の確保にむけ取り組んでいく。

自転車道の整備について

観光を主とした、あるいは日常生活を主とした自転車道の整備計画は検討されないか。また自転車活用推進計画を策定する考えはないか

答 弁 観光として魅力的なルート設定ができるのであれば検討したい。また、日常における脱炭素・健康管理を目的に市の施策を拡充する必要があるれば関係機関と検討したい。推進計画の策定は市民ニーズや社会情勢を踏まえ必要性について関係部局と協議する。

YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

オーバーツーリズム対応は

オーバーツーリズムとは観光

地に多くの観光客が押し寄せ、街中の人混みや交通渋滞、トイレ不足といったインフラの問題、騒音やゴミの問題、環境破壊など、地域住民と観光客とのトラブルが挙げられる①訪日外国人マナー違反の対応は②インバウンドによるゴミ対策は③観光収益の地域内循環は④3市1村の観光客の分散化は

答 弁 ①外国人観光客はコロナ前を上回り過去最高となったが、マナー違反による苦情は無い。住民の町をきれいにする意識と相互扶助の精神で維持・保全がされている。②ゴミ箱の設置が、かえって街並みの価値や景観を下げる。状況を注視して行く。③市内関係団体との外国人観光客受け入れ意向を確認し外国人観光客の滞在時間延長に

取り組む。④引き続き隣接自治体で飛騨市の紹介を頂く連携を継続し、外国語サイトやSNS、各種メディアを活用し魅力発信に一層力を入れる。

住宅の火災報知器について

火災報知器は自身や家族を守るための大切な設備です。点検や交換が市民の皆さんに周知出来ているのか伺います。①作動試験・本体交換状況②火災報知器の設置状況は③高齢者住宅の点検方法④点検時や交換時の経費負担は。

答 弁 ①PRに努めているが、市民の方が認識されていない可能性もあるので公報の頻度や方法を変え公報をして行く。②飛騨市は全国平均、岐阜県平均より高い。③民生委員や関係機関と合同で点検指導も行っているが、今後、防災訓練や防災士による指導も有効な方法④経費負担は現在の所考えていない。点検は簡単にできること、交換も専門業者でなくてもできるが諸般の理由で出来ない場合消防署へ相談。 YouTube ▶





籠山 恵美子 議員

市の除雪対応策について

①除雪出動の判断と巡視（パトロール）は誰がおこない、巡視の責任所在はどこに。②除雪にあたり道路法と施行令をどれだけ順守しているか。除雪での区長の責任は市条例になく、責任義務は当然市にある。除雪対応に市は区長に依存し過ぎではないか。

答 弁 ①出動基準ありなしにかかわらず、どちらも市に責任がある。②各区長に多大な負担をかけていることは承知しているが、これまで区長からの苦情はない。これからも連携を密にしたい。

第Ⅱ期飛騨市総合政策指針と新年度予算

①「人口減少先進地」飛騨市の、持続可能な飛騨市のための「積極戦略」と「適応戦略」とは何か。②教育分野での最大の課題は、教育負担の重

圧ではないか。その解決策は義務教育の無償化である。指針5年間でどれだけ無償化に近づけるか伺う。現場のハラスメント対応の通報窓口、マニュアルは整備されているか。③ダイバーシティ(多様性)社会の実現に最も重要なのは何と考えるか。

答 弁 ①人口減を前提として、人口が減って起こる問題に対応するのが「適応戦略」で、弱者への支援策などが相当する。「積極戦略」は地域産業振興、雇用創出のことで、移住定住促進や飛騨市ファンクラブ、ヒダスケなどのことが相当する。②無償化は国主導で対応すべきと考えるが、無償化と言いながら一定割合が地方自治体の負担になってくる懸念がある。国の議論に目を光らせていく。③新年度から推進リーダーを認定、育成していく。特効薬はないが、人の意識を変えることなので、粘り強く市民に浸透するよう継続するということに尽きる。

YouTube ▶



前川 文博 議員

若宮駐車場の土地交換は？

①同等の交換基準とは。飛騨市で鑑定評価をする考えは？②駐車場移転に伴う上下水道管移設工事の工事基準の確認は？③飛騨古川駅東駐車場の名称は、駅東開発事業者と同じになる。混同する可能性もある。変更の考えは？

答 弁 ①駐車場は国交省の基準、市道は岐阜県の実地を適用し基準を確認した。建物も図面を確認し市が管理していく事に問題ないことを確認した。②工事中の現地立ち合いも実施。市の基準を満たすことを確認して接続する。③「上気多駐車場」にすると広大な地域の名称で、逆に誤解が発生する可能性がある。この意見を踏まえ今後検討していく。

旧神岡鉄道について？

①鉄道施設の今後について？②鉄道資産の維持管理費用について？③協力金の15億円について？④観光滞在時間について？

答 弁 ①今後も飛騨市の観光の一翼を担う大切な資源、これまでどおり維持、活用していく。②自主事業に伴う費用は負担を依頼することもある。③15億円は全て鉄道資産のハード面の対策に充てる基金。④商工会議所の協力のもと大手旅行業者から具体的な旅行商品の提案がある。催行につながるように調整をすすめていく。

各種委員の報酬や費用弁償について？

①時間計算で最低賃金以下の委員もいる。報酬の見直しの考えは？②1 km 20円の自家用車使用に対する費用弁償を見直す考えは？

答 弁 ①報酬が著しく少額との認識。R7で点検、R8から施行の改正を予定。②市の実情に合った支給方法をR7に検討、R8以降の適用で考えている。

YouTube ▶



◆ 令和6年 議会基本条例に基づく活動結果 ◆

議会及び議員の活動の活性化と充実を図るため、市民参加、行政との議論並びに議員間での議論を通じて、開かれた議会運営の基本事項を定めることによって、市民の福祉向上と市政の発展に寄与することを目的として議会基本条例を定めています。令和6年の活動について自己評価をしましたので公表します。

区分	1 市民と情報を共有し市民の多様な意見を市政に反映させる取組み	2 市が執行する政策や事業を監視・評価する取組み	3 市民に開かれた分かりやすい議会運営への取組み
具体的な事業	● 団体等との意見交換会を実施する。 ● フリー参加できる会場を設置し意見交換を実施する。また、オンライン参加できる併設会場とし、多様な意見を聴取する。 ● 市民との意見交換会で得た意見を常任委員会で審査し要望事項を取りまとめる。 ● 市長に対し要望書を提出する。	● 各委員会で継続した調査ができるよう前年度の調査報告書を確認し継続調査が必要な事業を抽出する。 ● 各部の主要事業や市民に影響を及ぼしやすい事業に対し、計画的な所管事務調査を実施し、管外視察に結び付け事業を把握する。 ● 市長の諮問機関や意見聴取機関の公開される会議を傍聴し、監視評価を継続し市民意見の把握に努める。 ● 議決責任を踏まえ、委員会に付託された案件について必要に応じて論点整理を実施し、審査の度合いを深める。	● 昨年度に継続して議会だよりを広報モニターへ依頼しモニタリングする。 ● 小学生の議会見学を積極的に受け入れる。
活動実績	● 保育園保護者会、小中学校PTA会長・子育て委員長、商工会議所・商工会、観光協会と実施し、3日間で32人の参加を得た。 ● 令和5年の議会活動報告、市への要望と回答について説明し、市民意見の反映について情報共有を図った。 ● オンライン併設会場を開催する予定であったが、団体との意見交換会に集中することとしたため中止とした。 ● 常任委員会で要望事項を取りまとめ、12月9日、市長に対し要望書を提出した。 ● 時期を問わず意見聴取ができるよう、インターネットを利用した「市民の声を議会へおとどけください」窓口を開設した。	● 委員会において前年の調査報告書をもとに継続調査が必要な事項を確認し、課題を共有できるよう努めた ● 所管事務調査は今年度の主要事業を中心に調査を行ない課題を抽出し、管内視察・管外視察へ結び付け課題解決の方法を調査した。 ● 所管事務調査、管内・管外視察について報告書をまとめ、本会議での報告及び議会だより・ホームページで公表した。 ● 公開された会議に出席し、市民意見の把握に努めた。〈議員の任意参加〉 ● 論点整理を必要に応じて開催し、審査の度合いを深めた。〈委員会の任意開催〉	● 議会だより82号（8月15日発行）について広報モニターによる調査を行った。調査により寄せられた意見を基に改善案を協議検討し、ホームページで公表した。 ● 議会見学については、7月18日：古川小学校6年生（75人）、12月20日：宮川小学校（2人）が、社会科の授業の一環で議場を見学してくれた。
評価※	おおむね達成 ● 自由参加の形式のため参加者の固定化や意見の偏りがあったことから、これまで聴く機会がなかった団体との意見交換会を開催し、多様な意見を聴くことができた。また、その中で得られた意見と議会として調査してきた事項を踏まえた要望書を市長に提出し回答を得ることができた。 ● 市民意見の窓口を設置し対応する体制ができ、実績としては1件であった。	おおむね達成 ● 昨年度の調査報告を確認するとともに、今年度の主要事業を調査しながら管内・管外視察を実施することができた。また、意見交換会での意見と調査事項をあわせて市長要望につなげることができた。 ● 令和7年2月25日には調査報告書を議長に提出し、第2回定例会本会議において調査内容を報告するとともにホームページにおいて公表した。	おおむね達成 ● 広報モニターによる調査は、令和5年度からの一部カラー化に伴い実施してきて2回目となる。ページ数については適量であり、読みやすいという意見もあった。一部カラー化に伴い「読みたくなった」が26%ある反面、「変わらない」が56%という結果であった。 ● 議会見学では、議会の役割や仕組みについて説明し、児童たちの身近なことや市の様々な事業が議会の議決により進められていることを学んでもらう良い機会となった。

詳細な資料は市公式ホームページで公表しておりますのでご確認ください。

※ 評価は、達成、おおむね達成、一部達成、未達成、未実施による評価外の5段階の評価

◆ お知らせ ◆

第3回定例会 日程予定

6月10日(火)	本会議(開会日)	23日(月)	常任委員会(付託案件審査)
18日(水)	一般質問(1日目)	24日(火)	予算特別委員会
19日(木)	一般質問(2日目)	26日(木)	本会議(閉会日)
20日(金)	一般質問(3日目)		

※日程は議会運営委員会で協議し変更となる場合があります

市民の声を議会へお届けください!!

議会活動が身近な存在となるよう、市民の皆さんから幅広くご意見やご提案をお気軽にいただけるようにしております。右下にある二次元コードを読み取り、必要項目を入力のうえ送信してください。

寄せられたご意見は、広報広聴特別委員会で精査し、紙幅の許す限り「議会だより」で紹介しします。また、いただいたご意見やご提案で議会として取り組んだものは「議会だより」で報告します。※匿名でのご意見は受け付けることができません。



オープン議長室

飛騨市議会では今年度の試みとして、市民の皆様から広くご意見をお聞きするために、月に1回程度正副議長室を開放し語らいの場を設けます。議長、副議長が皆様をお待ちしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

開 放 日 5月27日(火)・6月30日(月)・7月31日(木)

時 間 午前10時～12時

場 所 飛騨市役所本庁舎3階正副議長室

※8月以降は次回の議会だよりでご案内します。ご予約は必要ありませんが事前にご連絡いただくと幸いです。

編集後記

昨年は、暖冬から始まり、夏は記録的な猛暑日が続き全国の観測地点数の累積で過去最大だったそうです。

今シーズンは、ラニーニャ現象で暖冬となった前シーズンと比較して夏は猛暑日、冬は寒冬といった天候傾向にあるそうで、正しく本冬は全国で記録的な大雪でした。飛騨市でも大雪に見舞われ、除雪委託費が燃料高騰、人件費上昇により、増額に増額を重ね12億円に膨らみました。飛騨市の一部地域では除雪が追いつかない所もあったようですが何とか乗り切ることが出来ました。市民の方から聞いたのですが「いつもの雪は降ってやんで」の繰り返しですが今年は「降って、降って」やまないから手に負えず、連日雪かきに追われ疲れ切っていると伺い大変な冬となりました。

議会関係では、令和7年度第1回定例会において、一部議案については、連合審査会を2日間に渡り徹底的に議論を踏まえ全会一致で可決し、一般会計197.9億円となり前年度より5.4億円増額(総額316.2億円)の新年度予算を成立し新年度がスタートしました。

令和7年度当初予算のテーマを「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市」を実現するため、これまでの政策を進化させ「持続可能に」「変革」の要素を加えたとし、賃金や物価高騰により様々な経費が増加する中でも市民の皆さんの暮らしが向上するためにも議会の力を結集し日々の活動に取り組んでまいります。

(上ヶ吹 豊孝)